



地方創生×離島留学への取り組み



● 2ヶ月間の魚島離島留学問い合わせ件数 18件

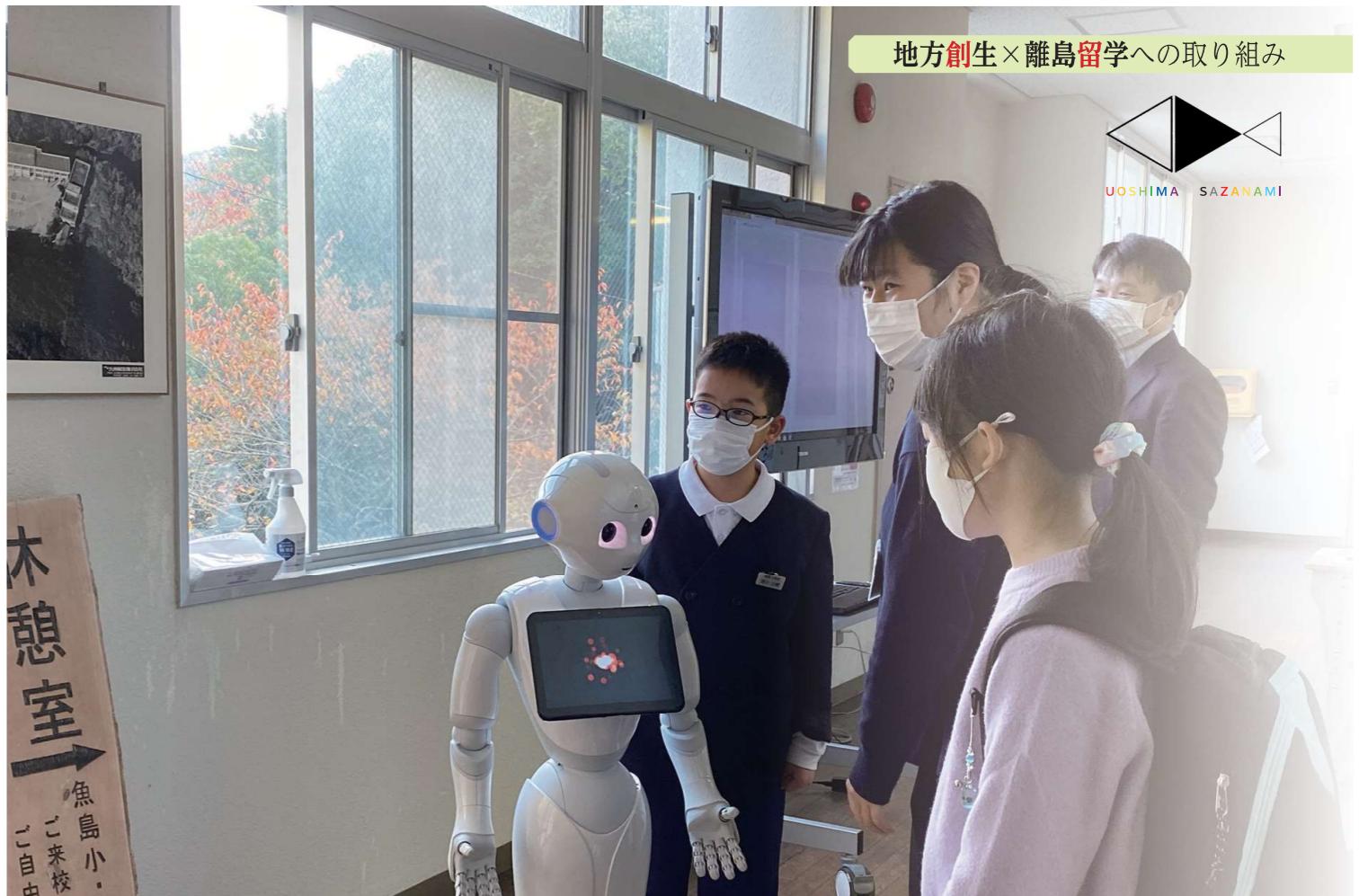
魚島離島留学見学件数 11組
中・四国地方 3組
近畿地方 2組
関東地方 6組 計31名

魚島離島留学 第1期生募集申込件数 (R4.12.9締切)

中・四国地方 2名
近畿地方 1名
関東地方 5名 計 8名

◆ 小学5年生から中学3年生を対象とした合宿型希望者数 8名

小学生 男1名 女1名 計2名
中学生 男4名 女2名 計6名 の申し込みがありました。



これからの進むべき方向 来年度スタート!! 魚島さざなみ留学

地方創生×離島留学への取り組み

魚島離島留学 第1期生を募集



uoshima_official こんなにちは *

5月に魚島に来てから気が付けば年末です。

この魚島離島留学事業が、留学生を、魚島を、上島町を変える大きな事業となるように、大胆かつ丁寧に取り組んできました。

年が明ければあっという間に4月を迎え、魚島さざなみ留学第一期生が転入学することでしょう。

魚島の様子はInstagram魚島さざなみ留学公式アカウント(@uoshima_official)にて更新していますので、ぜひご覧ください。

魚島の様子はInstagram魚島さざなみ留学公式アカウント(@uoshima_official)にて更新していますので、ぜひご覧ください。

に様々な理由があります。

昨年の令和4年12月9日（金）に募集の締め切りをしました。約2か月間でお問合せが18件、見学には11組31名が来られました。そのうち合宿型8名が申込みされました。内訳は次のとおりです。見学は中・四国地方3組、近畿地方2組、関東地方6組。申込みは中・四国地方2名、近畿地方1名、関東地方5名の計8名からありました。魚島の児童生徒と一緒に授業をしたあとに「また一緒に勉強しようね！」と、挨拶を交わしている様子が印象的でした。寄宿舎となる空き家の改修も徐々に進み、受入れの準備が整ってきました。離島留学生との寮生活を想像しながら4月に向けてさらに進めていきます。

島おこし協力隊、魚島離島留学担当の佐藤です。令和5年度より魚島離島留学を開始するためには、一期生の募集を令和4年10月3日（月）から開始しました。募集開始早々に数件の問い合わせがあり、その後も定期的に電話やメールをいただきました。真剣に離島留学を検討されているご家族が、全国から見学に来られ、申込みもたくさんありました。離島留学の需要は様々です。島での生活を楽しみたい。例えば、釣りや海水浴、虫取りなどを楽しみたい。これらのように都会では、満喫するのに移動時間要することが、日常的に経験できます。

また、学校の児童生徒数が多い地域での教育が合わないため、少人数で教育が受けられる地方に移住したい。静かな環境で生活したい。他にも各自家庭

上島町の皆さん、こんにちは。

島おこし協力隊、魚島離島留学担当の佐藤です。

令和5年度より魚島離島留学を開始するためには、

一期生の募集を令和4年10月3日（月）から開始し

ました。募集開始早々に数件の問い合わせがあり、

その後も定期的に電話やメールをいただきました。

真剣に離島留学を検討しているご家族が、全国

から見学に来られ、申込みもたくさんありました。

離島留学の需要は様々です。島での生活を楽し

みたい。これらのように都会では、満喫するのに移動

時間要することが、日常的に経験できます。

島おこし協力隊、魚島離島留学担当の佐藤です。

令和5年度より魚島離島留学を開始するためには、

一期生の募集を令和4年10月3日（月）から開始しました。募集開始早々に数件の問い合わせがあり、その後も定期的に電話やメールをいただきました。

真剣に離島留学を検討しているご家族が、全国から見学に来られ、申込みもたくさんありました。

離島留学の需要は様々です。島での生活を楽しみたい。例えば、釣りや海水浴、虫取りなどを楽しみたい。これらのように都会では、満喫するのに移動時間要することが、日常的に経験できます。

また、学校の児童生徒数が多い地域での教育が合わないため、少人数で教育が受けられる地方に移住したい。静かな環境で生活したい。他にも各自家庭



魚島離島留学プロジェクトリーダー
佐藤滉治さん

魚島離島留学
「第1期生募集」を終えて